

## ■ 文化祭～感動をありがとう～

10月5日(土)、「文化祭」が開催されました。本校の二大行事であるこの文化祭は、開祭式の大地讃頌の全校合唱、合唱コンクール、吹奏楽部演奏、生徒会企画の演劇、閉祭式での全校合唱などの他に、壁新聞、教科作品展示、文芸部作品展示、PTA展示等、日頃の授業などの取り組みの成果を発表しました。文化祭当日は、学級、学年、全校生徒が文化を発信することを通して感動を共有し合う行事となりました。

午前中の合唱コンクールでは、各クラスが日々練習を積み重ねてきた成果を十分に発揮して、心のこもった素晴らしい演奏を披露してくれました。私だけでなく、ご来校くださいましたご家庭の皆さん、地域の皆さんも生徒たちの熱演に涙を流して聴き入っていました。そして、自分たちが一生懸命取り組んだことに生徒の皆さんも充実感や達成感を得ることができたと思います。審査員の矢巾町教育委員会指導主事の菊池先生からも感動のあまり一つ一つの学級へのコメントをいただきました。

また、壁新聞も時間を有効に使って、1学期の新聞作成講習会で川村久子先生から学んだことを活かして、地域に出かけて記事を取材するなど、発信力、説得力のある質の高い壁新聞が完成しました。審査員の川村先生からは細部にわたるレタリング、記事内容などの質の高さを高く評価してくださいました。そして、全クラスの壁新聞について、外部コンクールへの出品を勧めてくださいるほど、高い評価をいただきました。

文化祭を成功させるには、生徒一人一人が、各クラスが、各学年が、そして全校が、生徒会執行部の企画・運営に誠心誠意協力し団結することが大切です。これまでの取り組みの中で、困難や悩みを抱えながらも合唱練習や新聞作成などに取り組み、その困難を乗り越えて努力したことが素晴らしい作品や発表に結び付いたと思います。生徒の皆さんの姿から『一生懸命は格好良い!』と改めて思いました。また、文化

祭の取り組みが進むほど、各クラスの教室環境が素晴らしくなり、真摯に取り組んでいる空気感が感じられました。「文化祭」で創造して得た様々な力を、これからの学校生活の中で活かして、さらに磨きをかけて欲しいと思いました。

最後に改めて生徒の皆さんに一言・・・『感動をありがとう!』

## ■ 第62期生徒会誕生 ～新たな歴史と伝統を築く充実した1年へ～

10月17日(木)、生徒会役員選挙立会演説会と投票が行われ、第62期生徒会が発足しました。立会演説会では、各立候補者から具体的な公約が示され、その演説に真剣に耳を傾ける全校生徒の姿が印象的でした。これまで3年生が築き上げてきてくれた成果を継承し、新たな歴史と伝統を創造してくれることを期待しています。10月28日(月)には、新生徒会発足後、初めての専門委員会が開催されました。また、生徒会合唱の選曲も始まりました。矢巾中学校のさらなる飛躍を期待しています。

## ■ 県新人戦 ～前期日程終了～

10月12日(土)、台風接近の雨模様の中、男子ソフトテニス個人戦に挑みました。2回戦まで勝ち進み、日々の早朝練習の成果や手応えが感じられました。また、10月19日(土)には、男子バスケットボール、男女ハンドボールが出場しました。上位入賞は逃しましたが、来年度の中総体を見据えて成果や課題をしっかりと見つめることができた大会でした。

今後の大きな目標は来年度の中総体です。これからの冬の時期をいかに活動していくかが重要となります。県大会で明らかになった成果と課題を洗い出し、対策を考えて、じっくり秋から冬、そして来年度の初夏に向けて練習を積み重ねて力をつけて欲しいと思います。

生徒の皆さんの今後の健闘を期待しています。また、後期日程をひかえている生徒の皆さん、今後の各種大会やコンクールをひかえている生徒の皆さんの健闘も期待しています。



